

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会議決権基準日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
上場金融商品取引所	東京
公告方法	当社公告につきましては、右記ホームページに掲載いたします。 http://www.nichirei.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 〔郵便物送付先〕 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〔電話お問合せ先〕 ☎ 0120-288-324 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

株式事務の取扱い

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種のお手続きのお申出先について

1. 証券会社等の口座に記録された株式

ご照会等は、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
 なお、郵送物の発送と返戻および支払い期間経過後の配当金などに関するご照会は、株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社 証券代行部)に、お問合せください。

2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行株式会社が口座管理機関となっていますので、お問合せください。

■ 未払配当金のお支払いのお申出先

株主名簿管理人でありますみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 配当金のお支払いについて

第93期期末配当金は、次のいずれかの方法により、お支払い申しあげます。

1. 配当金領収証によりお受け取りの方

同封の「第93期期末配当金領収証」記載のお支払い方法をご高覧の

うえ、最寄のゆうちょ銀行本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2011年6月27日(月)から2011年7月29日(金)まで)にお受け取りください。

また、同封しています「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や2012年の確定申告の際の添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、次回より口座振込をご希望の場合は、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引証券会社等に、特別口座の株主様は、みずほ信託銀行株式会社で、それぞれお手続きください。

2. 口座振込をご指定の方

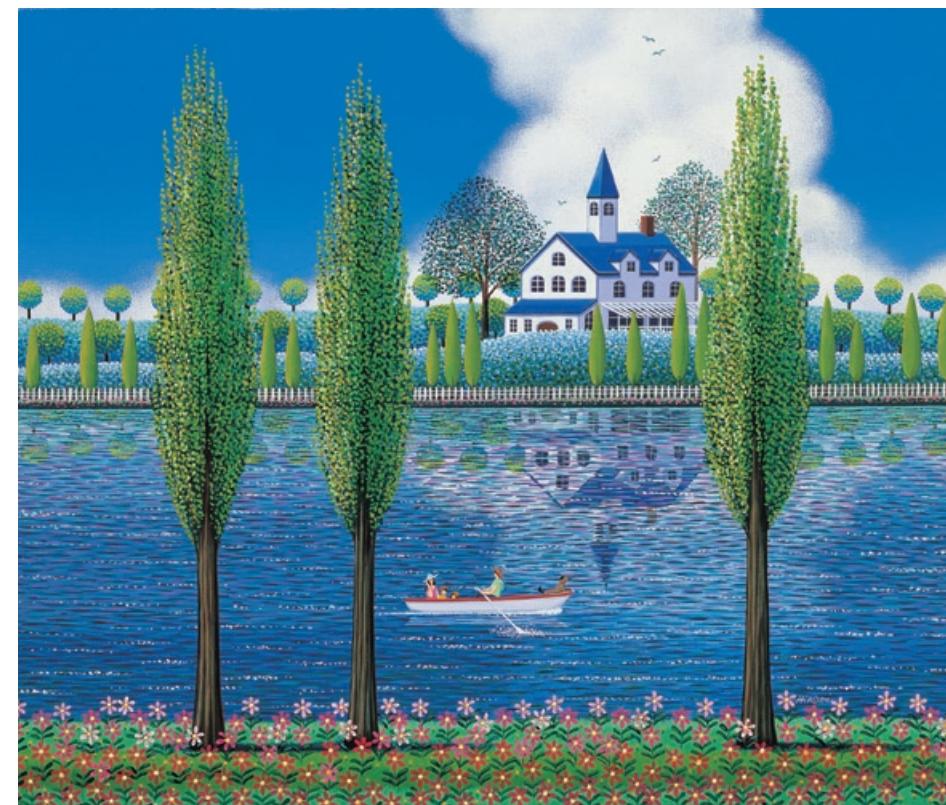
配当金の口座振込をご指定の方は、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封していますので、ご確認ください。

なお、株式数比例配分方式により証券会社等で配当金をお受け取りの株主様につきましては、源泉徴収税額計算は、証券会社等にて行われますので、2012年の確定申告の添付書類は、お取引の証券会社等へご確認ください。



Vol.26

第93期 グループ報告書
 2010年4月1日～2011年3月31日



© Hiromi Ikeda / Studio OZ Inc.



この印刷物は、印刷プロセスで使用する4.66kgのアルミ板をリユースして印刷することで、
CO₂排出量を42.54kg削減しました。



42.54kgのCO₂削減量は、樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の木約3.05本分が1年間に吸収するCO₂量に匹敵します。(出典:林業白書)



「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループ全体のネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。



Contents

株主の皆様へ	2
トップインタビュー	3
新社長紹介	6
連結決算ハイライト	7
連結決算概要	8
期末配当金について、表彰	12
TOPICS	13
ニチレイECO	15
Key Word	17
ニチレイフーズの食育	18
Introduction	19
おいしさひと工夫	20
株式の状況	21
会社概要	22

Profile 表紙絵の画家プロフィール 池田 ヒロミ氏

1958年東京都生まれ。夢と希望に満ちた、平和で温かな情景を描くナイーブ派の画家として、出版・広告など幅広い分野で活躍中。2009年、現代童画会セルビア・東欧巡回展（セルビア・コヴァチツァ村）に出品。ほかに、全国の百貨店・画廊での個展を開催、グループ展出品多数。

●株主の皆様へ●

第93期グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災されました皆様へ、心からお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当期のわが国経済は、アジアを中心とした海外経済の改善や各種の政策効果により持ち直しに転じました。しかしながら自律性は弱く、資源価格の上昇、為替相場の変動、デフレの影響、引き続き高い水準の失業率など、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

食品・食品物流業界におきましては、内食回帰などから家庭用冷凍食品の需要には復調の兆しが見えつつありますが、低価格志向の影響により回復には力強さを

欠き、また荷主の在庫圧縮が定着し、保管・輸配送商材の争奪のため競争が激しさを増すなど業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありました。

2011年度は、資源価格の上昇、為替相場の変動、東日本大震災による影響などが懸念され、厳しい事業環境の継続が予想されるなか、「グループ中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）」の2年目として、持続的な利益成長の実現に向け、めまぐるしく変化する環境へ即応し、事業戦略を着実に遂行してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月

グループミッション・ビジョン

MISSION【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

VISION【めざす姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。



代表取締役会長 浦 聖 光 人 代表取締役社長 村 井 利 彰



代表取締役社長 村井 利彰

最終年度の大きな飛躍へ向けて、 各社の独自能力を発揮し、 「2012年度末のあるべき姿」の実現をめざします。

2011年度は、中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）の2年目として、三段跳びでいえば“ホップ・ステップ・ジャンプ”の「ステップの年」にあたり、計画最終年度の経営目標達成に向けて重要な年度になります。

初年度を振り返るとともに、次年度に向けての決意などを村井代表取締役社長にインタビューしました。

Q 事業戦略の着実な遂行とスピーディーな対応力、持続力をめざした中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）の初年度（2010年度）のビジネス環境および全体業績について、どのように評価されていますか。

初年度である2010年度は売上高4,497億円、営業利益165億円をめざしてスタートしました。実績は売上高4,378億円（前期比0.1%減収）で年初の計画を下回りましたが、営業利益166億円（前期比0.8減益）で加工食品事業における生産性の改善や原材料調達コストの

安定などにより、ほぼ年初の計画通りに着地することができました。

最近の景気動向は、一時期の踊り場状態から回復傾向にあるようですが、足元の状況を見ますと新興国の購買力向上や世界的な天候不順による食料価格の高騰に加え、中東における民主化運動の高まりを背景に、原油供給の不安感から燃油価格が高値で推移しています。また、2011年3月11日に発生しました東日本大震災が日本経済に与える影響は非常に大きく、ニチレイグループの各事業においても影響を及ぼし、2011年度は昨年以上に厳しい事業環境になると予想されます。

Q 各事業の成果と課題について、どのように認識されていますか。また、2011年度の計画をどのようにお考えですか。

加工食品事業は、アイテムの絞込みによる業務用チキン製品の採算改善、固定費の見直し、生産効率改善などコスト低減が利益目標の達成に大きく寄与しました。また、タイに合弁で設立したGFPTニチレイ（タイランド）社の新工場でチキン製品の生産を開始し、供給体制の強化を進めました。今後は、この大型投資工場の早期安定稼働の実現とチキン製品の販売拡大に注力し、あわせて原材料・製品調達コストの上昇への的確な対応が大変重要な施策になります。この施策の成否が2011年度から2012年度のグループ全体の計画達成のキーポイントになると考えています。

水産・畜産事業は、販売計画に基づく商材の開発・調達による収益の安定化が大きな成果です。「こだわり素材」の取扱いなどにより、他社との差別化もできました。水産事業は海外における加工生産管理体制の強化と販売の拡大、畜産事業は純和鶏事業の利益改善およびこだわり素材と市場要求型商品の開発・拡販が各々の

事業の課題と認識するとともに、在庫管理の徹底など使用資本の圧縮に取り組み、資本効率を向上させることも重要な施策と考えています。

低温物流事業は、物流ネットワーク事業における新設物流センターの貢献と関東圏での車両高度活用などによる収益力アップ、地域保管事業における将来の競争力強化に向けたスクラップアンドビルドの計画的実施、欧州における事業領域拡大のためフランスの物流事業会社の買収が成果としてあげられます。

新設物流センターの早期安定稼働の実現は物流ネットワーク事業・地域保管事業に共通する課題です。物流ネットワーク事業においては配送車両のさらなる効率活用による競争力の強化、およびフローズンにチルド・常温を加えた3温度帯への事業領域の拡大、地域保管事業においては新規顧客開拓・新規商材の集荷およびロジグループの拠点を活かした運送部門の拡大を各々の事業の重要施策と認識しています。





また、海外事業においてはポーランド拠点の収益改善や昨年買収したフランス新規拠点の活用による西欧域でのシナジーの発揮を課題と認識しています。

Q ニチレイグループのCSR(企業の社会的責任)について、お聞かせください。

ニチレイグループ各事業は「食の安定供給を担う社会インフラ事業」です。今回の被災で、全国の物流が止まってしまい、被災地の方々は大変なご苦勞をされました。物流が、電気、ガス、水道と同様、社会インフラであるということであらためて痛感しました。ニチレイグループは、

グループ各事業の活動に加え、事業特性を活かした従業員参画型の社会貢献活動を継続的に行っていきます。

Q 最後に株主の皆様へ向けてのメッセージをお願いします。

中期経営計画“energy 2012”で描いた持続的成長の実現に向け、計画2年目にあたる2011年度は、極めて重要な年度になります。厳しい経済情勢を背景に事業環境は楽観できませんが、各事業が共通の企業経営理念のもと、独自能力を発揮し、最終年度の大きな飛躍に向けて成果を積み上げていかなければなりません。

震災の影響は多々ありますが、ニチレイグループは、必ず乗り越えていきます。今後とも引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新社長紹介



代表取締役社長

池田 泰弘

株式会社ニチレイフーズ (加工食品事業)

信頼される食品企業であるために

私たちニチレイフーズは、食を通じて社会や生活者のお役に立つ会社でありたいと考えています。日本で初めて冷凍食品をつくった会社としての誇りを持ち、当社独自の卓越した技術を磨き上げ、お客様に満足いただける価値ある商品を提供することで、最も信頼される食品企業になることをめざしています。

このミッション実現のために、常に進歩しようとする貪欲な姿勢と、株主の皆様をはじめステークホルダーから学び続ける謙虚な姿勢を併せ持ち事業を進めてまいります。

まずは、食の安全にこだわり、素材が持つ特性を

見極めて、その魅力を引き出す商品を開発していきます。原料素材の安全性を追求し担保できる仕組みを構築し、信頼されるブランドとしての価値向上に努めます。

次に、生活者のライフスタイルを見つめ、生活者の視点に立った商品をご提供していきます。ご提供する商品が、私たちが掲げる7つの基本価値(おいしさ、健康、楽しさ、安全・安心、簡単・便利、安定供給、リーズナブルな価格)を満たし、生活者に歓迎されることでニチレイフーズのミッションをしっかりと果たし、ニチレイグループの企業価値が増大するよう努めてまいります。



代表取締役社長

早間 元晴

株式会社ニチレイフレッシュ (水産・畜産事業)

持続可能な成長をめざして

ニチレイフレッシュのミッションは、資源保護や環境との共生にも配慮した「こだわり素材」を差別化の起点とし、生活者価値の創出者となることです。

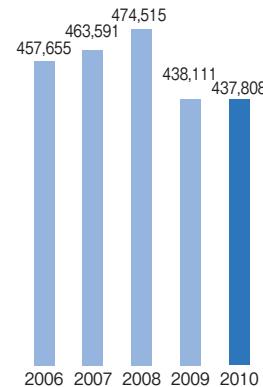
私たちは、生命と健康を支える優れた動物性たんぱく質である水産品・畜産品を生活者に提供する事業を通じて、グローバルな事業環境変化に適応して将来にわたって価値を提供し続けることができる企業でありたいと願っています。

そのために我々が為すべきことは、新しい市場・

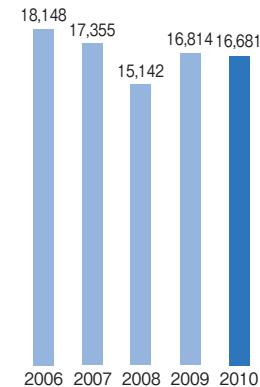
商品・サプライヤーを開拓・開発し、育てていくこと。生産性と効率性を絶えず意識してローコスト体制を実現すること。この2つの課題を実現することができる人財を育成すること。「創造性」「ローコストオペレーション」「人財」、これがニチレイフレッシュの強みであり、さらに磨きをかけていく点だと考えています。グループで働く全ての人が活き活きとして自らの役割と責任を真摯に実践し、さらに成長する企業をめざしてまいります。

連結決算ハイライト

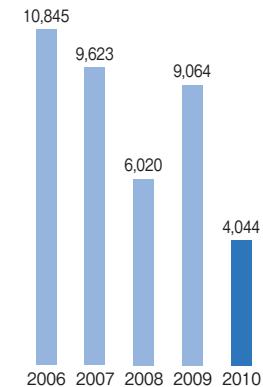
売上高 (年度/単位:百万円)



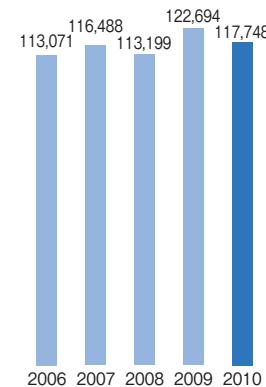
営業利益 (年度/単位:百万円)



当期純利益 (年度/単位:百万円)



純資産 (年度/単位:百万円)



区 分	単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	百万円	457,655	463,591	474,515	438,111	437,808
営業利益	百万円	18,148	17,355	15,142	16,814	16,681
経常利益	百万円	17,388	16,890	14,171	15,450	16,115
当期純利益	百万円	10,845	9,623	6,020	9,064	4,044
総資産	百万円	269,166	257,812	287,296	277,496	284,562
純資産	百万円	113,071	116,488	113,199	122,694	117,748
1株当たり当期純利益	円	34.97	31.04	19.42	29.24	13.08
1株当たり純資産	円	358.08	368.56	357.85	385.47	377.08
設備投資額	百万円	8,958	7,044	13,972	23,610	21,096
減価償却費	百万円	13,167	13,144	13,738	13,506	14,158
有利子負債	百万円	99,431	90,569	110,495	85,792	96,977
従業員数	名	5,711	6,054	6,250	6,577	10,118

(注) 2008年度から「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(1993年6月17日(企業会計審議会第一部会)、2007年3月30日改正))および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(1994年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、2007年3月30日改正))を適用して算出しています。
この適用に伴い、2008年度以後の「有利子負債」にはリース債務を、「設備投資額」および「減価償却費」にはリース資産を、それぞれ含めた額を記載しています。また、2007年度以前についても、有価証券報告書のリース関係取引の注記事項を基にそれぞれ修正しています。

連結決算概要

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

当期の売上高は、4,378億8百万円(前期比0.1%の減収)、営業利益は、生産性の改善や原材料調達コストの安定が寄与した加工食品事業が増益となりましたが、全体では、166億81百万円(前期比0.8%の減益)、経常利益は、161億15百万円(前期比4.3%の増益)とほぼ前期並みとなりました。

特別利益は、区分地上権設定による受取補償金30億8百万円などを計上し、総額51億23百万円となる一方、

特別損失は、退職給付制度改定損66億10百万円や、東日本大震災に伴う災害による損失31億96百万円などを計上し、総額123億78百万円となりました。

以上により、当期純利益は、40億44百万円(前期比55.4%の減益)となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

区 分	当 期 2010年4月 1日から 2011年3月31日まで	前 期 2009年4月 1日から 2010年3月31日まで
売上高	437,808	438,111
売上原価	350,442	350,153
売上総利益	87,365	87,957
販売費及び一般管理費	70,684	71,143
営業利益	16,681	16,814
営業外収益	1,939	1,628
営業外費用	2,505	2,992
経常利益	16,115	15,450
特別利益	5,123	1,169
特別損失	12,378	2,238
税金等調整前当期純利益	8,860	14,380
法人税、住民税及び事業税	4,285	5,154
法人税等調整額	486	△ 13
少数株主損益調整前当期純利益	4,088	—
少数株主利益	44	174
当期純利益	4,044	9,064

損益計算書のポイント

(括弧内は前期比の増減)

POINT



連結決算概要

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

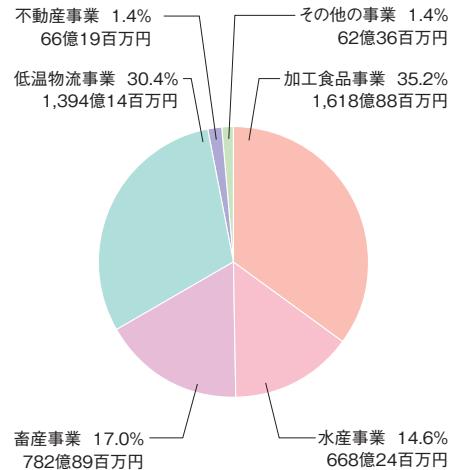
セグメント情報

●連結子会社数 74社 ●持分法適用関連会社数 13社 (単位:百万円)

	売上高		営業利益	
	当期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	当期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
加工食品事業	161,888	162,073	4,609	2,561
水産事業	66,824	67,192	592	893
畜産事業	78,289	77,643	388	676
低温物流事業	139,414	139,016	7,296	7,883
不動産事業	6,619	※ 7,114	3,558	※ 3,680
その他の事業	6,236	※ 6,798	417	※ 476
計	459,272	459,838	16,863	16,172
調整額	△21,463	△21,727	△ 182	641
連結	437,808	438,111	16,681	16,814

※2010年4月1日付をもって、当社連結子会社間で企業再編(合併)を実施したことから、セグメント情報のうち、不動産事業とその他の事業の売上高、営業利益の表示に組み替えをしています。

セグメント別売上高構成比



POINT

各セグメントのポイント

加工食品事業

- 家庭用調理冷凍食品は、市場全体が回復途上であり、「本格炒め炒飯」「焼おにぎり」「本和風若鶏から揚げ」などが好調に推移し、全体の売上は増収
- 業務用調理冷凍食品は、製品・原材料の調達コストが比較的安定したことや、商品アイテムの絞込みによる採算改善効果などにより商品利益は増益
- アセロラは、飲料事業を譲渡し原料事業へ特化したことにより売上は減収となるものの、国内原料販売が伸長するとともに、欧州への売上げを中心に海外販売も伸長し増益

水産事業

- 「こだわり素材」など重点商材の取扱いは、販売計画に基づく商材の開発・調達を進め収益を確保する一方、産地価格の高騰や販売価格低迷の影響を受け、売上げ・営業利益ともに減収・減益

畜産事業

- 牛肉や豚肉は、口蹄疫の発生や猛暑の影響を受けた国産品と輸入品の調達価格がともに上昇する一方、消費者の低価格志向が続いたことから、売上げは前期並みを確保するも減益

低温物流事業

- 国内事業は、物流ネットワーク事業が車両の効率活用など、コスト圧縮を図りつつ、新規物流センターの立ち上げやチルド・常温の温度帯への展開など事業の規模と領域の拡大を進め、増収
- 地域保管事業は、荷主の在庫圧縮や異常気象の影響を大きく受けたことなどから減益
- 海外事業は、ポーランド新設効果とフランス低温物流事業会社の買収により収益基盤は拡大するものの、ユーロ安(円高)の影響などにより前期並みにとどまる

不動産事業

- 賃貸オフィスビルのリニューアル工事を実施するとともに、市場ニーズに対応した環境・省エネルギー対策工事を実施するなど稼働率の維持に努めるものの、テナントの撤去や一部の賃貸契約の更新による収入減少などにより減収・減益

その他の事業

- 組織染色製品は好調に推移したものの、インフルエンザの流行レベルが通常に戻ったことにより、バイオサイエンス事業は、減収・減益

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

区分	当期 2011年3月31日現在	前期 2010年3月31日現在
流動資産	103,180	94,833
固定資産	181,381	182,662
有形固定資産	143,466	140,806
無形固定資産	5,971	4,413
投資その他の資産	31,943	37,442
資産合計	284,562	277,496
流動負債	110,328	89,550
固定負債	56,485	65,251
負債合計	166,813	154,802
株主資本	115,047	115,943
資本金	30,307	30,307
資本剰余金	23,709	23,709
利益剰余金	63,254	62,318
自己株式	△2,224	△ 393
その他の包括利益累計額	10	3,524
少数株主持分	2,690	3,225
純資産合計	117,748	122,694
負債純資産合計	284,562	277,496

貸借対照表のポイント

(括弧内は前期末比の増減)

POINT

総資産 2,845億円 (70億円の増加)

- 東日本大震災への対応として、短期資金の調達により手元流動性を確保したことに伴い、現金及び預金が一時的に増加したことなどにより流動資産は83億円増加
- 設備投資や欧州における低温物流事業会社の買収、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴い有形固定資産が増加する一方、連結除外による有形固定資産の減少や退職給付制度改定に伴い、投資その他の資産が減少したことなどにより、固定資産は12億円減少

負債 1,668億円 (120億円の増加)

- 現金及び預金の積み増しや設備投資代金の支払いなどにより有利子負債が111億円増加、災害損失引当金を19億円、資産除去債務を23億円計上した一方、賃貸ビル保証金33億円の返還などにより負債は120億円増加

純資産 1,177億円 (49億円の減少)

- 当期純利益40億円計上、配当金の支払い27億円などにより利益剰余金は9億円増加した一方、自己株式4,702千株を17億円で取得したことや、その他の包括利益累計額が減少したことなどにより純資産は49億円減少

有利子負債のポイント

POINT

有利子負債は、東日本大震災の緊急支出などに備えて、現金及び預金を積み増したことや、設備投資代金の支払いなどにより111億円増加し、969億円となりました。

有利子負債の状況 (単位:百万円)



連結決算概要

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

区 分	当 期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前 期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
●営業活動によるキャッシュ・フロー	17,274	33,345
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,229	△ 13,555
●財務活動によるキャッシュ・フロー	6,416	△ 33,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 540	209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,920	△ 13,324
現金及び現金同等物の期首残高	6,239	19,564
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 364	—
現金及び現金同等物の期末残高	10,795	6,239

キャッシュ・フロー計算書のポイント POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー 172億円の収入

○経常利益は161億円、減価償却費は140億円を計上するものの、賃貸ビル保証金33億円の返還、退職給付制度の改定による支出や法人税等の支払いなどにより、172億円の収入

投資活動によるキャッシュ・フロー 182億円の支出

○有形固定資産の取得による支出や欧州における子会社株式購入などにより、182億円の支出

財務活動によるキャッシュ・フロー 64億円の収入

○自己株式の購入や配当金などの支払いを行う一方、東日本大震災への対応として手元流動性を一時的に確保したことなどにより、64億円の収入

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ45億円増加し107億円となりました。

連結株主資本等変動計算書

(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(単位:百万円)

区 分	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額 合計		
2010年3月31日残高	30,307	23,709	62,318	△ 393	115,943	3,723	18	△ 217	3,524	3,225	122,694
当 期 変 動 額											
剰 余 金 の 配 当			△ 2,789		△ 2,789						△ 2,789
当 期 純 利 益			4,044		4,044						4,044
連 結 範 囲 の 変 動			△ 319		△ 319						△ 319
自 己 株 式 の 取 得				△ 1,835	△ 1,835						△ 1,835
自 己 株 式 の 処 分	△ 0			4	4						4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△ 1,467	△ 10	△ 2,036	△ 3,514	△ 535	△ 4,049
当 期 変 動 額 合 計	—	△ 0	935	△ 1,830	△ 895	△ 1,467	△ 10	△ 2,036	△ 3,514	△ 535	△ 4,945
2011年3月31日残高	30,307	23,709	63,254	△ 2,224	115,047	2,255	8	△ 2,253	10	2,690	117,748

期末配当金について

当社は、連結株主資本配当率(DOE)^{※1}を基準として安定的な配当の継続を重視するとともに、各事業年度の連結業績などを勘案しながら利益配分を行っていくことで、資本の効率性と利益配分の双方を配当の目標とすることを基本方針としています。

なお、中期には連結株主資本配当率(DOE)2.5%、連結配当性向^{※2}25%を目標とします。

当期の期末配当金につきましては、上記方針のもと、1株につき5円とさせていただきます。これにより、中間配当金4円を含めた年間配当金は、1株につき9円となります。

※1 連結株主資本配当率(DOE)=配当総額÷(連結純資産-少数株主持分)

※2 連結配当性向=配当総額÷連結純利益

表彰

2010年度ロジスティクス 大賞奨励賞を受賞

(株)ロジスティクス・プランナーは、冷凍食品メーカー3社との中四国エリアにおける共同配送の環境負荷低減とコストダウンへの取組みが評価され、2010年度ロジスティクス大賞奨励賞を受賞しました。

ロジスティクス大賞は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会によって創設され、IT活用・サプライチェーンマネジメント構築・環境調和型ロジスティクス構築の取組み等の企業価値向上活動に対し、その優れた実績が認められた企業や機関、団体に授与されるものです。



盾を手に。(株)ロジスティクス・プランナー 石川善三代表取締役社長(右)

食料自給率向上に寄与し、優れた取組みをした事業者・団体等を表彰する「フード・アクション・ニッポンアワード2010」で、研究開発・新技術部門において(株)ニチレイフーズが最優秀賞を、プロダクト部門において(株)ニチレイフレッシュが優秀賞を受賞しました。

お米100%で製造した“新食感 フライ用衣材”の技術開発

(株)ニチレイフーズが開発した「お米100%で製造したフライ用衣材の技術開発」が研究開発・新技術部門において最優秀賞を受賞しました。これまでにない食感を持つフライ用衣材で、お米の新しい魅力を引き出すことを目標に、2年の期間を経て技術開発に成功しました。

今後は、当社業務用フライ商品での採用を含め、様々な場面での活用方法を検証し、展開していきます。



表彰式での受賞挨拶。相馬義比古前(株)ニチレイフーズ代表取締役社長

『純和鶏』を通じた地域活性型 循環生産サイクル

(株)ニチレイフレッシュが2008年度より活動してきた『純和鶏』事業を通じた生(農家)・官(農林水産省、町役場)・民(メーカー&流通)コラボの新しい循環型ビジネスモデルについて評価をいただき、プロダクト部門で優秀賞を受賞しました。

- ①純国産鶏種『純和鶏』のこだわりと種の存続
- ②飼料米活用による新しい農畜産業&流通モデル
- ③休耕田の活用と地域社会との共生を今後も広げていきます。



(株)ニチレイフレッシュはプロダクト部門で優秀賞をいただきました

日冷企業管理諮詢(上海)有限公司 ～ 中国で、安全・安心な冷凍食品を！

経済成長の著しい中国は、最早安価な商品の調達先ではなく、世界のあらゆる企業が注目する巨大マーケットとなっています。このマーケットを獲得するためには、メーカーとして必要な機能を揃えたとともに、その機能の力を結集し、一体となって事業を推進していく必要があります。

日冷企業管理諮詢(上海)有限公司は、株式会社ニチレイフーズの中国での事業展開において、この役目を担う会社として、前身の上海駐在員事務所をベースに2010年7月に設立、9月より営業を開始しました。

現在、部門として、「商品開発」「生産管理」「品質保証」「管理」の4つがあり、中国国内での商品販売の支援のほか、中国の工場から日本へ輸出する商品の生産・品質の管理等の業務に、日本人10名・中国人13名の体制で当たっています。

日本で培われた株式会社ニチレイフーズの技術をベースに、中国の方々の優れた考え方・手法を取り入れ、中国および日本のお客様に、おいしく安全な冷凍食品をお届けしていきたいと考えています。



現在、中国のスーパーマーケットで販売している冷凍食品



販売会社・日冷食品貿易(上海)有限公司(ニチレイフーズ子会社)と共用の事務所



当社の行動指針。中国のお客様の食卓を笑顔で満たします！

会社概要 (2011年3月末現在)

社名：日冷企業管理諮詢(上海)有限公司
 所在地：中華人民共和国上海市長寧区凱旋路166号6棟3階C室
 設立年月日：2010年7月29日
 資本金：33万ドル(約3,000万円)(株式会社ニチレイフーズ100%)
 代表者：董事長 島田 明彦
 売上高：1億4,300万円(2011年度目標)
 従業員数：23名
 事業内容：中国向け、および日本向けの冷凍食品に関する商品開発、品質保証、技術生産指導、中国事業全体進捗管理、収益管理

株式会社花乃菓房 ～ 素材本来のおいしさを大切に、おいしい和菓子を提供し続けたい



株式会社ニチレイフーズは、高齢化社会による和菓子市場の伸びが期待されること、また得意分野である「米」を使用した商品アイテムの拡充を考え、岩手阿部製粉株式会社と協同で、冷凍スイーツ市場構築に向けた新会社「花乃菓房」を設立しました。

それぞれの役割は、製粉・和菓子製造ノウハウを持つ岩手阿部製粉株式会社が製造し、冷凍食品市場で様々なチャネルを有する株式会社ニチレイフーズが販売します。この製販機能を有機的につなぎ、新たな業態・チャネル開発を含めたマーケティングおよび、和を中心とした冷凍スイーツの開発を当社が担います。

和菓子の原材料は大変シンプルです。それゆえに、素材選びと素材の風味を損なわない製法が大切だと考えます。製粉会社の強みを活かし、冷凍和菓子専用の米粉をひき、その生地にあった餡を厳選して作られた和菓子は、しつこさがなくスッキリとした甘さで、どこか懐かしい、シンプルな味わいです。現在は、業務用を中心としたベーシックな商品から季節の和菓子の提案などを行っています。



工場(左)と岩手阿部製粉株式会社直営店舗



主力商品の大福生産ライン



季節に合わせた商品のご提案

会社概要 (2011年3月末現在)

社名：株式会社花乃菓房
 所在地：岩手県花巻市石鳥谷町好地3-85-1
 設立年月日：2010年10月1日
 資本金：1,000万円(株式会社ニチレイフーズ51%、岩手阿部製粉株式会社49%)
 代表者：代表取締役社長 片岡 恵美
 売上高：1億円(2011年度 株式会社ニチレイフーズ売上げ目標)
 従業員数：6名
 事業内容：和菓子のマーケティングリサーチおよび商品企画・開発



ニチレイグループは、環境保全活動を継続的に推進しています。

ニチレイグループでは、グループ環境方針を策定し、3つの重点課題(地球温暖化防止、持続可能な資源循環の推進、自然との共生)に取り組んでいます。

2010年度取組み状況

地球温暖化防止

気候変動の影響を大きく受ける“食”に関わる企業グループとして、工場や物流センターなどの事業所から直接排出されるCO₂の削減に取り組むとともに、事業内容との関わりを考慮し各事業会社が重点課題を設定し、サプライチェーン全体でのCO₂削減を推進しています。

特に食品工場については、生産1トン当たりのエネルギー起源CO₂排出量を1999年度比15%削減という目標を掲げ取り組んできました。太陽光発電、LED照明など新たな省エネルギー設備の導入や既存設備のより高効率設備への転換、熱回収によるエネルギー再利用などとともに作業方法の見直し、ラインの改善などによる節電や節水などを実施しました。

しかしながら、原単位削減目標を達成することは、できませんでした。

自らの事業所から排出するCO₂については、今年度新たに定めたグループ総量削減目標達成に向け取組みを強化していきます。

主な活動

- 調達：牛のメタンガス排出抑制
- 食品工場：廃熱の再利用、高効率設備の導入
- 物流センター：新規センター(東浜物流センター、東扇島物流センター)のLED照明・自然冷媒への転換
- オフィス：パソコンの省エネルギーモードへの一律設定、電気自動車(下記参照)の導入
- 物流：中四国エリアにおける冷凍食品共同配送の取組みが、2010年度ロジスティクス大賞奨励賞を受賞(P.12参照)
- 商品：包装資材の軽量化・小型化
- その他：LC(ライフサイクル)CO₂の把握

ニチレイグループ技術開発センターに導入した電気自動車



ここから充電します



(注) 1. 上記は、CO₂排出のための算出係数を2009年度に固定した場合(グループ目標管理は固定で実施)。地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算出した場合は3%減となります。
2. 2010年度の増加分のうち、約6,300トンが事業所の増加や生産量の増加に起因すると推定されます。

ニチレイグループWebサイトに『ニチレイグループCSRレポート2011』を掲載しています。是非、ご覧ください。

<http://www.nichirei.co.jp/corpo/env/index.html>

自然との共生

ニチレイグループの事業は、豊かな地球からの恵みによって成り立っており、これは自然界の多様な生態系や生物種などによって維持されています。これまでも前ページで紹介している課題対応のほか、自然保護活動団体支援などを通じて自然との共生に努めてきました。

2010年度は、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開催され、生態系保全の重要性が一層高まるなか、ニチレイグループとしてその重要性を再認識し、さらに取組みを強化していくため、新たにグループ生物多様性方針を策定しました。

地球のいのち、つないでいこう



ニチレイは生物多様性民間参画パートナーシップに参加しています

主な活動

- 自然や地域と共生した持続可能なえびの調達
- 絶滅危惧種アツモリソウ再生プロジェクトへの参画
- 生物多様性をテーマとする啓発活動の実施
- 各地域における自然保護活動への継続参加、支援

グループ生物多様性方針

生物多様性は、生きものが存続していくための基盤であり、未来に引き継いでいかなければならない大切な財産です。私たちの事業は、生物多様性から生み出される多くの恩恵で成り立っていますが、一方でさまざまな影響を与えています。この認識のもと、事業活動による生物多様性への影響を把握し、ステークホルダーの皆様と連携・協働しながら、保全及び持続可能な利用に継続的に取り組んでいきます。

- 1 原材料調達においては、お取引先と連携・協働し、持続可能な利用に配慮して生産、漁獲等された素材やその加工品の調達に積極的に努めます。
- 2 事業活動に関わる生物資源は、できる限り商品として皆様に提供するとともに、肥料、飼料、エネルギー等への資源循環に心がけ、社会のために最大限活かすよう努めます。
- 3 省エネルギー、省資源、3R(Reduce, Reuse, Recycle)、グリーン調達、有害化学物質対策等により持続的な発展が可能な社会づくりを推進し、生物多様性に影響を与える環境負荷の低減に努めます。
- 4 自社施設、所有地およびその周辺、原材料調達先の周辺において、生物多様性保全や復元に寄与する活動に努めます。
- 5 環境啓発活動、情報発信などを通じて、生物多様性を育む社会づくりに貢献します。

絶滅危惧種アツモリソウを再生させよう

かつて長野県富士見町の山中に自生し、今や絶滅危惧種に指定されているアツモリソウを再生させようと、立ち上げられた「富士見町アツモリソウ再生会議(2006年度～)」は、2008年度～2010年度の環境省「生物多様性保全推進事業」として採択されています。

ニチレイグループの株式会社ニューハウジング・ニチレイガーデン事業所では、この事業に参画しています。温室では、アツモリソウの栽培方法の検証を実施し、2～5年後の開花をめざします。富士見町の皆さんの活動、「世界らん展日本大賞2011」のブースにおけるパネル展示でのアピールに協力しました。



温室で開花したアツモリソウの試験株

Key Word

ニチレイグループならではの企業活動やトピックスなどをキーワードによりご紹介します。



ニチレイ・ロジスティクス関東 東扇島物流センターが新設稼働

東扇島物流センター(川崎市川崎区)は、前中期経営計画のスクラップアンドビルド計画最終案件です。今回稼働の1期棟(設備能力40,433t)と年内着工予定の2期棟とあわせ、フル稼働時には設備能力約90,000tの国内最大級の冷蔵倉庫となる予定です。

構造面では、冷蔵倉庫としては現在世界最高水準の免震装置を導入し、地震災害への万全な対応を可能にしています。また、コンベア式高周波解凍機を設置した解凍室に加え、食品原料の軽加工処理を行う加工室も完備しています。

さらに、セキュリティ面では、入室管理に最新の顔認証システムを導入し監視カメラと組み合わせることで、より万全なセキュリティ体制を実現しました。

そして、当センター最大の特徴は、運送機能を最大限に発揮できるよう設計された保管・輸送一体型の複合物流拠点であるという点です。トラック接車バース数32



解凍機。様々な設定温度帯に対応
能力：30t/日

バース、プラットフォームの奥行きは30m、幅100mとなり、従来の当社物流拠点と比較して倍以上の広さの1F荷捌きスペースを確保しています。

また、ロジスティクス・



直径1mの免震装置を88ヶ所に備え、施設全体が免震構造になっています

ネットワークの運送事業所を併設し、港湾地区の好ロケーションと首都高速に近い立地利便性をフルに活用した高効率な保管・輸配送サービスの提供が可能となっています。

ニチレイロジグループの首都圏港湾地区には、隣接する川崎ファズ物流センターや2010年3月に増設を行ったキョクレイ山下DC※1をはじめとする13拠点(DC：10拠点、TC※2：3拠点)の物流施設が点在しています。ニチレイ・ロジスティクス関東東扇島物流センターの稼働で、このエリアの保管総能力も、約370,000tとなります。

今後は港湾各センターの機能と1日約4,000運行のロジスティクス・ネットワークの輸配送機能を密接に連携することで、お客様にとって利便性の高いワンストップなサービスを提供していきます。

※1 DC(Distribution Center)：保管型物流センター
※2 TC(Transfer Center)：流通型物流センター

ニチレイフーズの食育

ニチレイフーズの食育

ニチレイフーズは、「食」を通じて様々な体験をしていただき、安全なものを選ぶための情報や、会話の弾む楽しい食卓のための話題を提供し、人々のカラダと心を健康にしたいと考え、食育推進活動をしています。

取組み紹介



冷凍ピラフ作り体験(左写真:ビニール袋に具材を入れ、凍結させているところ)

ニチレイフーズの各生産工場では、周辺地域の方々に対して『キッズツアー体験！工場見学』を行っています。

また、全国の営業支社においても、地域ごとに五感(視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚)を使った体験型のワークショップを実施しています。

関西支社においては、健康おおさか21・食育推進企業団※に参画しており、その活動として、『子どもふしぎチャレンジ』を夏休みに開催しています。2010年度は「子ども冷凍博士」として、関西工場の見学と-25℃の冷凍倉庫体験をしました。参加したお子様と保護者の方々は、冷凍野菜と生野菜の食べ比べ、冷凍

ピラフ作りなどを通じて、食品を冷凍するメカニズムについて学びました。このイベントの最後には、「子ども冷凍博士」の認定書授与式を行い、立派な冷凍博士が誕生しました。

また2010年度は、社内部門横断的なメンバーで構成される食育プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは「食をことばで表現する」ことを目的とし、食育プログラムの作成、製品パッケージを通じての食育メッセージの発信、学校の先生や給食の栄養士への出前授業などを行いました。次年度も食育プロジェクトを通じて、様々な活動を推進していきます。



「子ども冷凍博士」の認定書授与式 出前授業風景

※健康おおさか21・食育推進企業団：食育基本法の施行を受け、大阪府民の食育を推進し支援するため、自主的に食品関連事業者が集まり、2006年1月25日に設立。

Introduction

ニチレイフーズ2010年度売れ筋商品ベスト3と2011年春のおすすめ新商品をご紹介します。

家庭用冷凍食品／売れ筋商品 **ベスト3** (期間：2010年4月～2011年3月)

1位 お弁当にGood!
ミニハンバーグ
1,894万パック



冷めてもジューシーなお弁当用ハンバーグです。トマトケチャップを配合し、味も香りもマイルドに仕上げています。

2位 **本格炒め炒飯**
1,872万パック



お米一粒一粒の「ふっくらパラッと感」をそのままに、卵を絡ませ具材の彩りが特長の本格的炒飯です。

3位 お弁当にGood!
からあげチキン
1,464万パック



鶏肉本来の味を活かすために、ニチレイフーズ長崎工場製鶏油を使用。旨みと豊かなコクが楽しめます。

※データ：ニチレイフーズ出荷ベース

今春のおすすめ、いちおし新商品

お弁当にGood!
ミートオムレツ

牛肉、玉ねぎ、にんじんをじっくり直火でソテーし、ブイヨンとデミグラスソースで煮込みました。本格的な具材を、バター風味のふっくら卵で包み込みました。

豚肉しょうがのおむすび

定番おかず「豚肉のしょうが焼き」風の具材をごはんに混ぜ込み、彩りにいんげんを加えた、おかずいらずの1品です。

ミニフライドチキン

近年、ファーストフードなどで人気のフライドチキンを家庭用商品に仕上げました。様々な食シーンでお使いいただけるよう、味付や大きさにこだわりました。

商品のお問合せ先：お客様相談センター ☎0120-69-2101 [受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)]

おいしさの工夫

当社の商品を使った簡単な調理例をご紹介します。



ミニハンバーグのチーズポテト ※レシピ開発：ABC Cooking Studio

【材料 2人前】

じゃがいも 1/2個、ピザ用チーズ 20g、付け合せ野菜 適量

A：牛乳 小さじ2、マヨネーズ 大さじ1、塩 小さじ1/8

B：マヨネーズ 大さじ1/2、トマトケチャップ 大さじ1、生クリーム 小さじ1、にんにく(おろしたも) 少々

●お弁当にGood! ミニハンバーグ 4個

【下準備】

●じゃがいもは皮、芽を除いて、一口大に切り、ラップをかけ電子レンジで加熱(500Wで3分)し、つぶしておく。●Bは、混ぜ合せておく(オーロラソース)。●オープンで220℃に予熱しておく。

【作り方】

- ① ボウルにじゃがいもを入れ、Aを加え、よく混ぜる(マッシュポテト)。
- ② ミニハンバーグに①のマッシュポテトとピザ用チーズを等分にのせる。
- ③ ②をオープンに入れ12分焼く。
- ④ 器に盛り付け、Bのオーロラソースをかけ、付け合せ野菜を添える。



甘えびシューマイ酸辣湯 ※レシピ開発：ABC Cooking Studio

【材料 4人前】

たけのこ(水煮) 50g、にんじん 50g、生しいたけ 2枚、にら 30g、絹ごし豆腐 60g、卵(溶いたもの) 1個、水溶き片栗粉(片栗粉小さじ4と水小さじ8)、しょうゆ 小さじ2、塩 小さじ1/2、こしょう 少々、酢 大さじ1、ラー油 少々

A：鶏がらスープの素 小さじ1、水 800cc、酒 小さじ1

●甘えびシューマイ 1袋(12個)

【下準備】

●たけのこ、にんじんは、長さ4cmのせん切りにしておく。●生しいたけは、石づきを除き、笠、軸とともに薄切りにしておく。●にらは、根元を除き、長さ4cmに切っておく。●豆腐は、5mm角の棒状に切っておく。

【作り方】

- ① 鍋にAを入れ煮立て、沸騰したら中火にして甘えびシューマイを加える。
- ② たけのこ、にんじん、生しいたけを加え、再び煮立ったら、しょうゆ、塩、こしょうを加え軽く煮る。にら、豆腐を加え、豆腐が崩れないように混ぜる。
- ③ 水溶き片栗粉をまわし入れ、とろみがついてきたら卵をまわし入れ、酢を加える。
- ④ 器に盛り付け、ラー油をかける。



株式の状況 (2011年3月31日現在)

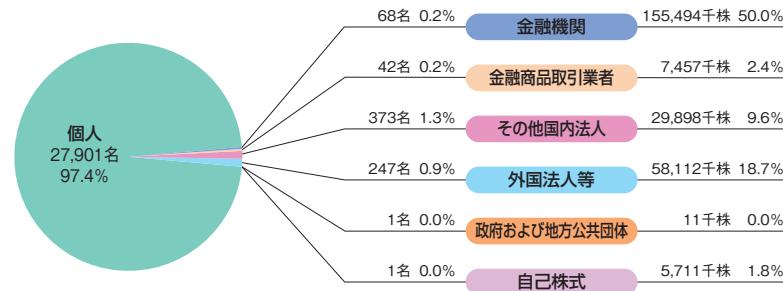
発行可能株式総数 720,000,000株
 発行済株式総数 310,851,065株
 ※発行済株式総数には、自己株式(5,711,801株)を含んでいます。
 単元株式数 1,000株
 株主数 28,633名

●大株主

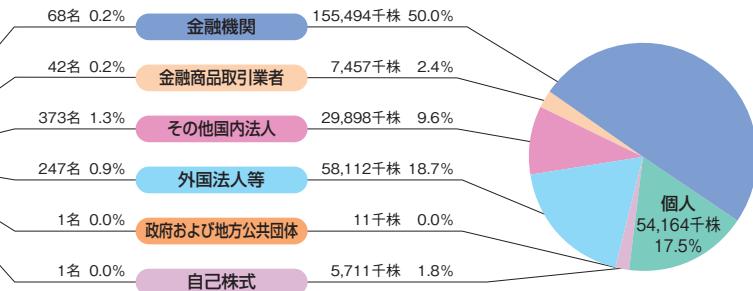
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	18,781	6.2
日本生命保険相互会社	16,785	5.5
株式会社みずほコーポレート銀行	15,370	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,837	4.9
株式会社損害保険ジャパン	11,059	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	9,733	3.2
第一生命保険株式会社	5,716	1.9
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,598	1.8
農林中央金庫	5,350	1.8
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	5,034	1.6

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
 2. 持株比率は、自己株式(5,711千株)を控除して計算しています。

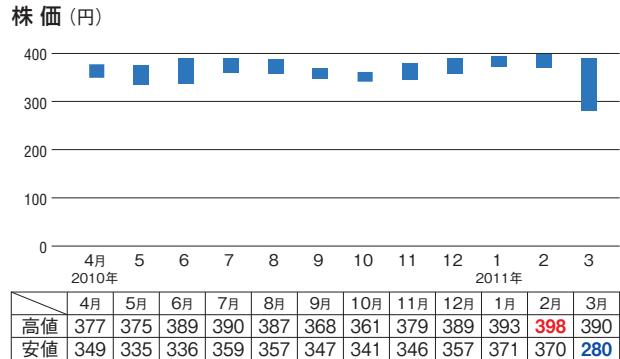
●所有者別株主数分布状況



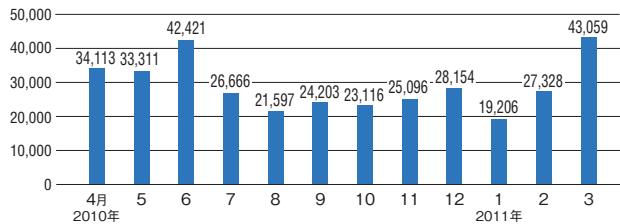
●所有者別株式数分布状況



●株価チャート



出来高 (千株・月間合計)



会社概要 (2011年6月24日現在)

社名 株式会社ニチレイ

所在地 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号
 ニチレイ東銀座ビル

設立 1942年12月

役員 代表取締役 会長 浦野 光人
 代表取締役 社長 村井 利彰
 取締役 執行役員 河合 義雄
 取締役 執行役員 荒 剛史
 取締役 執行役員 中村 隆
 取締役 執行役員 早間 元晴
 取締役 執行役員 池田 泰弘
 社外取締役 判治 誠吾
 社外取締役 炭谷 俊樹
 社外取締役 川俣 美由里
 常任監査役 (常勤) 三田 勇太郎
 監査役 (常勤) 山口 秀俊
 社外監査役 (非常勤) 齊田 國太郎
 社外監査役 (非常勤) 安念 満
 執行役員 森 康益
 執行役員 大谷 邦夫

会計監査人 新日本有限責任監査法人
 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル



(株)ニチレイ本社ビル

<http://www.nichirei.co.jp/>
 情報満載のホームページ

事業紹介や株主・投資家向け情報はもちろん、皆様のお役に立つ商品・サービス情報を掲載しています。

